

災害と電気に関するアンケート結果

アンケートにて聴取した内容

- ①年齢(おおよそで結構です) + 住んでいる都道府県
- ②実際に避難を余儀なくされた災害の内容
- ③避難時(避難生活時)に不便に感じたこと
(実際に普段の生活と違ったことや、普段の生活からかけ離れて不便と思ったこと)
- ④停電、電源の確保で困ったこと(充電、暖房、その他不便に感じたこと)
- ⑤避難所で今後これがあるとありがたいと思うこと

災害と電気に関するアンケート結果

30代 宮城県	地震	PCを安定して使えなければ自分のIT系の仕事も出来ないし、暇つぶしも出来ないで何も出来ないと感じました。	電源が得られなかったり、安定していなかったりしたことで、パソコンがいつ止まるか解らないという不安や作業中のデータの喪失などがあり困りました。	まずは電源があることが第一ですが無停電電源装置(UPS)があると安定してパソコンを使えるので安心できます。
47歳 愛知県	大雨	人が多くプライバシーがないうえ、煩くて落ち着かなく寝ることができませんでした。	携帯の電池を充電する場所がなく困りました。	携帯を充電できるソーラー電池や発電機が避難所にあると便利に思います。
30才 高知県	二年前の台風による水害被害	水道水の濾過装置が壊れたとのことで断水状態になりました。自衛隊による水や食糧の配給がありましたが、配給場所には長蛇の列があり水をもらうのにとでも時間がかかりました。秋でしたが暑かったので着替えやシャワー歯みがきができなかつたり、食料も買うことができずいつものライフスタイルが崩れたので個人的にこれらの点は不便でした。	携帯の充電に困りました。避難するとき充電器をもって逃げなかったのでコンセントがあっても充電できませんでした。	充電器(自家発電タイプ)、プライベートスペース(ついたてなど)、小さい子ども(2~5才程度)が遊ぶためのおもちゃ映像
30歳 北海道	大雨で土砂災害の警報があり避難した形です。	非常時なので仕方なかったですが他人との仕切りがなく寝ていても常に人目が気になりました。寝ている姿は家族など近い人しか見られないので他人から丸見えではなかなか眠ることが出来なかった。他には大勢の人が1つの空間で生活するので色んなにおいが混じって臭かった。	電気が付かなければ情報網が途絶えるので、今の状況が分からなくなることです。	発電機があれば電気が使えるので、発電機があれば非常に助かります。
40代前半 宮城県	阪神淡路大震災(現在宮城県在住ですが地元は神戸)	非常時なので仕方なかったですが他人との仕切りがなく寝ていても常に人目が気になりました。寝ている姿は家族など近い人しか見られないので他人から丸見えではなかなか眠ることが出来なかった。他には大勢の人が1つの空間で生活するので色んなにおいが混じって臭かった。	ずっと住んでいる家なら暗くてもトイレに行ったり出来るが、慣れない場所で暗いとトイレに行くだけで時間がかかるし、戻る時も迷ってしまう。	パーティションなどプライベートが確保出来るもの。着替えなどもしやすくなると思います。拭き取りの洗顔ウォーターや女性は化粧水などスキンケアグッズがあれば嬉しいと思います。
32歳 東京都	東日本大震災	都心の交通網が麻痺してしまい、帰宅困難者となった。宿泊施設も全て埋まってしまい、途方にくれた。	携帯電話の電池が無くなり、連絡を取る術を失ってしまった。避難場所等の確認がとれず、かなり困った。	自家発電できるライト・携帯電話充電機器。また、配給用の非常食。

30代、宮城県	東日本大震災で被災しました。	ライフラインが途切れてしまって一番苦労したのが水でした。飲み水やトイレの水を探すのに苦労しました。	携帯の充電は震災から2日後に切れました。暖房器具は無かったのでとにかく厚着をしてしのぎました。	携帯用トイレ。非常用の水。
33歳、大分県	千葉県に住んでいる時に東日本大震災による地震、停電	地震に付随して物流がストップして、食料調達に困った。また、福島原発のメルトダウンに対してはどのような行動をとればいいのかわからなかった。	住宅がオール電化だと、全てがストップしてしまい困った。	プライベート空間を保つための、テント。
27歳 静岡県	台風で自宅の近くの川が氾濫する可能性があった為。	避難している方たちと隣同士で寝たりすること。テレビを見たりできないことなどとにかくすべて不便でした。	スマートホンの充電ができず、困りました。	携帯用の充電器
26歳 新潟県	地震、土砂崩れ	全てが不便でした。朝起きれば知らない人たちが一緒に寝ている。ご飯は食べたくても支給なので並んでもらわなければならず、とにかく周りに気がつかない。	全て不便でした。電気はなく手動のライトとラジオを聞けるみたいなのがたまにあり、手動で回しながら入ってくるニュースを聞いていましたがニュースを聞いて尚更絶望したのを覚えています。	とにかくプライベート空間が欲しかったので数居みたいなのがあるととても安心します。女性は特にそう思うと思います。とにかく避難所にいる時は気がまいてるので一人もしくは家族と空間を共有したいと感じました。
40歳 神奈川県	台風の影響で一部が停電になってしまったため避難しました。	トイレが行きたい時にいけなかったのが、大変困りました。	充電器の貸出がありましたがかなかなか順番が回って来ない為、連絡をするのに大変時間がかかりました。	非常用トイレがあると便利だと思いました。
35歳 三重県	大型の台風で避難指示が出た	プライベートな空間がなかったこと	携帯の充電がなくなったのに充電できなかったのが困りました。	すぐに建てられる簡易的な仕切り
30歳栃木県	地震	主人の実家に避難しましたが、やはり気は使いました。	停電が2日ほど続いたので、家には帰れませんでした。	個別に生活できるしきり

20代後半	東日本大震災	トイレ、食料の不安、家族や友人の安否、常に周りに他人がいるストレス	予備電源があったので電力不足にはならず済みました。	保存の利く食品、簡易トイレ、爪切り(意外と困ります)、ラジオ、携帯充電器
40歳、北海道中標津	暴風雪	トイレが少ない、プライベートが全くなくなるため着替えなど人の目が気になる	冬だったので自宅待機中はとにかく布団の中で耐えました。携帯電話の電池の消耗など不安に感じました。	とにかく暖のとれるもの。食料(温かい)
40代 大阪府	阪神淡路大震災	寒さ、騒音、プライバシーの無さ、食料、などもそうでしたが一番はトイレです。女性の方は特に大変でしたね。	しばらくの間、火災防止のため暖房が使えなかったことです	仮設トイレとプライバシーを守るテント
39歳山形県	今は山形県に住んでいますが、福岡県に住んでいるときに10年程前だったと思います。地震でマンションにヒビが入り、家の中はぐちゃぐちゃになり避難しました。	犬を飼っていたので、車の中での生活になり大変でした。またちょうど息子が熱の時の地震だったので、具合の悪い人に加え地震で怪我をされた方が多く病院にきていて大変でした。	5月ぐらいだったので、暑さや寒さといったもので困りはしなかったし、思ったより早く家に帰れたのでよかったです。やはり充電が出来ず携帯でしか情報が得られない為困りました。	避難所にはいかなかったので、わかりませんがペットを飼っている家族にも、避難所に行きやすくして欲しいと思いました。
20代 東京都	台風	精神的なストレス	携帯の充電	充電器
49歳 三重県	土石流	共同避難所で暖を取る寝場所とプライバシーの確保に困りました。	小規模の土石流だったので、その時は停電は無く困りませんでした。携帯の充電が共同避難所ではなかなか出来ず困りました。	毛布、トイレ、水、情報。

兵庫県神戸市	台風による河川の増水	短期間でもプライバシーが守られないのが辛い。	携帯の充電ができず困りました。知り合いにも連絡できなかった。	携帯の充電設備は必須だと感じました。連絡がつくだけでも安心感がありますしニュースで状況もわかります。
29歳で茨城県	東日本大震災のせいで電気や水が使えなくなりました。	電気が使えないので、夜にトイレに行くだけでも懐中電灯が必要になりました。水も少なかったなので、必要な時以外使えなかったのが不憫でした。	電気が使えなかったので懐中電灯が必需品でした。携帯電話は充電できなかったので、大事な時以外は使いませんでした。	避難所であった方が良いのはwi-fiです。これさえあれば、家にあるノートPCを避難所で使えますので。
20代後半 神奈川県	東日本大震災	まず、外出先(都内)であったため避難場所がわかりませんでした。電話も携帯電話はつながらず、公衆電話に1時間くらい並んで家族の安否を確認しました。公衆電話も、小銭が使えない公衆電話(テレホンカードのみ使用できるもの)が多く驚きました。電車が止まってしまい、その日は運休で歩いて家に帰れる距離ではなかったため、周囲の人と情報交換しながら避難場所として開けてくれている場所(ホテル)へ移動しました。避難先も毛布が足りず、食料もなく、携帯も充電できないため使えず、置いてあったテレビを多くの人と不安に思いながら見ていたことを覚えています。	充電器はコンビニに行けば何とかなるだろうと思ったらすべて売り切れていて充電は全くできませんでした。停電はしていなかったもので、避難場所は暖かく、暖房に困ることはありませんでした。	携帯の充電できる施設があるとよいと思います。携帯電話があれば、インターネットで情報を得られるため、家族の安否等も取りやすいからです。パソコンなどがあると便利だと思います。そのため、電源コード・延長コードなども多くあるとよいかなと思います。
20代 神奈川県	川の氾濫	プライベートな空間がなかったこと	充電ができず、連絡をしたいときに充電がなくなってしまったこと。	必要最低限のもの 充電は困ったがいちばん大事なものは食料と飲み物だと思いました

30代 大分県	2016年熊本・大分で起きた地震	ベットと避難出来なかった事とプライベートの確保	携帯だけが頼りの状態が続き、充電器を差し込むプラグの少なさ。取り合いになる	充電スポット、ベットと避難出来る施設、パーティション
25歳 東京都在住	東日本大震災(当時は福島市にいました)	地震の直後は一時的に避難し、自宅に戻りました。避難場所では、とくに24時間プライベートスペースがないこと、入浴が1週間できなかったことがとくに記憶に残っています。また、自宅に戻ってからも入浴はできず、水も近所で相談し井戸水を確保したり、ガソリンスタンドにもガソリンがなくなっていて、食料も移動もできなくなるのでは、と感じました。	電源も困りましたが、電話はかけても繋がらず機能しなかったので、連絡手段を断られたことが怖かったです。	ごはんは、少しでも温かいものだ、元気が出ます。
19歳 東京都	中越地震	車中泊	急に停電になるので避難の際目がなれておらず素早く避難することができなかった	あたたかいふとん、足を伸ばして寝れる場所、隣との衝立など
34才 兵庫	2004年台風による洪水で家屋が浸水し、高台にある隣家に避難せざるを得なくなった	緊急避難所に指定されていた施設も被災していたため隣人宅に厄介になるしかなく、自分も気苦労したが相手方にも迷惑をかけた。	長時間にわたり停電があったため灯りを確保するため懐中電灯を持ち出したが、日頃使っていないためか電池を替えても調子が悪く使えなかった。	大勢の人が不衛生な状況を共にするので、ティッシュ手袋など使い捨ての衛生用品があればいいと思う
25歳 埼玉県	東日本大地震	寒い、他人が近くにいるストレス	暖をとるのが大変	折りたたみベッド、ホッカイロ、ホットカーペット、水